

日本核酸医薬学会

生物セッション第4回サテライトシンポジウム

— 遺伝子修復機構を知り、

核酸医薬による新しい創薬モダリティを考える —

日時：2019年10月26日（土） 13時～18時（開場12時30分）

場所：東京医科歯科大学 M&Dタワー 21階 大学院講義室1

<http://www.tmd.ac.jp/outline/campus-map/index.html>

講演5件，講演時間各35分，質疑応答5分

主催：日本核酸医薬学会

コーディネーター：日本核酸医薬学会生物セッション幹事 小寺淳，程久美子，山吉麻子

実行委員：日本核酸医薬学会生物セッション幹事

定員：50名ほど

参加費：無料

参加申し込み URL：<https://ssl.form-mailer.jp/fms/a91337fd635997>

当日は登録完了メールを印刷してご持参頂き、受付にご提出下さい。

懇親会参加費：1,000円

問い合わせ先：田辺三菱製薬株式会社 小寺 淳

kotera.jun@mk.mt-pharma.co.jp

13:00-13:05 開会挨拶

日本核酸医薬学会 生物セッション副主任幹事 程久美子 (東京大学)

(座長)

13:05-13:45

浜松医科大学 医学部分子生物学講座 丹伊田浩行 准教授

Acetylation and deacetylation, both required for nucleotide excision repair

13:45-14:25

群馬大学 未来先端研究機構 柴田淳史 准教授

DNA 二本鎖切断修復経路の決定メカニズム

14:25-15:05

京都大学 医学研究科放射線遺伝学講座 茂木章 助教

ユビキチンリガーゼによる DNA 損傷トレランスの制御機構

休憩

(座長)

15:20-16:00

京都大学 医学研究科放射線遺伝学 笹沼博之 准教授

DNA 切断端の形状が DNA 損傷修復に与える影響解析

16:00-16:40

首都大学東京 理工学研究科分子物質化学専攻 廣田耕志 教授

複製ポリメラーゼ ϵ の校正エキソヌクレアーゼ活性のカンプトテシン誘導損傷における
フォーク停止での機能

16:40-16:45 閉会挨拶

日本核酸医薬学会 会長 横田隆徳 (東京医科歯科大学)

17:00-18:00 フリーディスカッション